

修学旅行の3日間を満喫。保護者の皆様には大変お世話になりました。

2年越しの奈良・京都方面の修学旅行が、やっと実施できました。

ぎりぎりまで体調管理や感染症対策などに気を配り、お子さんを送りだして下さった保護者の皆様には感謝しかありません。生徒たちも「みんなで一緒に行こう」という気持ちが働き、いつも以上に体調管理には気を配っていたのではないかと思います。

実際に関西を訪ねてみますと、あちこちでの消毒対策はもちろんのこと、バスガイドさんや運転手さんなど様々な場面で気配りを感じました。旅館のスタッフのみなさんは、生徒が脱いだスリッパをひとつひとつ消毒してくださり、シーツやバスタオルの交換なども例年以上に行き届いていました。「よくぞ、京都へ来てくれました。おいでやす。」と、この数年離れていた修学旅行生を心から歓迎してくださり、本当に待っていてくださったことを、強く感じました。

1日目 7月10日(日)

朝5:50集合だというのに、5:30前には数名の生徒が集まっていました。

すでに前日出発式を終えていたので、集合の後はずっと新幹線へ向かいました。

新幹線の中は、ご想像の通り、それなりに工夫して楽しんでいる様子が見えました。

途中、静岡などの暗い空の様子をみて関西の天気も心配されましたが、京都からクラス別バスに乗り込んだ頃には、テンションもマックス。バスガイドさんの呼びかけにはノリノリで返事をする生徒たち。ところが、奈良公園の鹿と戯れ、日差しも強くなった2か所目の見学のアトには、さすがに疲れたのか足取りも重く、宿に着くころには、早起きの反動がきてバスの中は静まり返りました。宿泊学習を経験したことのない今年の3年生は、はしゃぐのも無理はありません。やっとたどり着いた京都の町家の雰囲気に残る旅館「花かんざし」で、楽しい夜を過ごしました。



2日目 7月11日(月)

タクシーに分かれて班別の研修を楽しみました。予定より1か所多く回ってきたグループや、両手いっぱいにお土産を抱えて帰ってきた生徒たち。16:30ごろには続々宿に到着。大浴場と部屋のお風呂を使って密を防ぎ、汗も流すことができたようで、男子は部屋に入ってトランプやウノなどカードゲームに夢中になり、女子は恋話など普段の教室ではできないおしゃべりが夜遅くまでとまらなかったようです。



3 日目 7 月 12 日 (火)

最終日は二日目より 30 分早く起床。京都市内の最後の散策だったので、8 時ごろから遠くに出かけるクラスをスタートに出発しました。見学とお土産を買う最後のチャンス。お昼の集合場所には荷物を抱えて戻る生徒や、クラスによっては「和菓子作り」や「着物着付け体験」、「トロッコ乗車」を楽しみました。

駅前のホテルでの最後の昼食のあとは、京都駅を後にして、修学旅行専用列車に乗り込みました。最後の最後までカードゲームを楽しむ姿や、疲れ果ててまわりを気にせず爆睡する生徒もいました。

「楽しかった？」と聞くと、「あと 1 週間ぐらいいても良かったかも。」とか、「あと 1 日あったら班別はタクシーじゃなくて自分たちで電車とバスに乗りたかった」など、それぞれ思うところはあったようです。



私たち教員も生徒たちと 3 日間一緒に過ごし、学校では決して見られない表情やまわりに気を遣う様子など、たくさんの場面を目にすることができました。初めて会う土地の方へのごあいさつもでき、思った以上に大人な面を見た気がして、嬉しく思いました。ぜひおうちでも「中学校の修学旅行は楽しかったか」話題にしてみてください。

中学時代の思い出の一つに、宝物として加えてもらえたらうれしいです。

(旅行中の細かい生徒の様子は、ホームページをご覧ください。)